

令和元年度 農林水産部 重点目標

	重点事項	成果目標
1	<p>スマート技術により農林水産業を変革します</p> <p>スマート技術の実装支援と技術開発を進め、農林水産業をあこがれの職業へと変革するとともに中山間地の多い京都府にマッチしたスマート技術の導入を支援し、農山漁村の軽労化を図ります。</p>	<p>【スマート技術の実装により京都の農林水産業を高収益化します】</p> <p>府内の農林水産現場へIoTやセンシングなど、スマート技術の実装を促進し、先進高性能機械やハウスの環境制御などにより省力・高品質・高収益化を図ることで、若者に「農林水産業を職業として選択したい」と思われるような変革を遂げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ドローンや自動運転トラクターなどによる省力化や、園芸ハウスの環境自動制御など農林水産現場へのスマート技術の実装の支援：10件（新規） <p>【スマート技術の現場導入で中山間地域を支えます】</p> <p>トラクター、田植機などの自動運転機械や、自走式除草ロボット、水田の水管理システムなどを組み合わせた京都の特性に合った中山間地域での新しい農業を現場で実証します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 京都の特性である中山間地域水田に適合するスマート技術を開発するとともに既存技術をカスタマイズ：1地区（新規）
2	<p>木材生産の拡大と防災・減災対策の両輪で森林整備を進めます</p> <p>新たな森林管理システムの始動を契機に府内産木材の生産量を拡大して、需要にしっかりと対応するとともに、府民の安心・安全を確保する森林整備を進めます。</p>	<p>【木材生産を拡大する民間等事業体を支援します】</p> <p>高性能林業機械の導入、コンテナ苗の導入などのハード支援に加え、複数事業体による作業の協業化促進などにより木材生産の拡大に取り組む民間等の事業体を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 木材生産の拡大に取り組む民間等事業体数：17事業体（新規） <p>【新たな森林管理システムを確実に推進します】</p> <p>本年度から始まる新たな森林管理システムを着実に推進し、適切に管理される森林を増やすために、森林の集約や森林経営計画の策定を市町村と進めるとともに、高精度な森林資源情報の整備を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 森林経営管理事業の推進に必要な森林資源情報の整備：12万ha（新規） <p>【防災・減災対策を進め森林の防災機能を効果的に発揮させます】</p> <p>被害を受けた森林の復旧や、整備が遅れている森林の危険木の除去、簡易防災施設の設置など、京都府豊かな森を育てる府民税等を活用し、防災・減災対策を進め、森林の保全に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 台風等で被害を受けた森林復旧、山地災害危険地区の防災・減災対策の実施数：95箇所（③80箇所）

令和元年度 農林水産部 重点目標

3	<p>住みやすい農山漁村の環境づくりに取り組みます</p> <p>人口減少と高齢化が進む中、観光との連携や移住の促進、地域外人材の確保により持続的・自立的な集落の維持・存続を目指します。</p>	<p>【観光と連携した地域振興を図ります】</p> <p>京都の農山漁村ならではの農家民宿や、野菜の収穫体験など実りや暮らしを体験できる地域資源を磨き上げ、ハード、ソフト両面から農山漁村エリア全体を観光化する取組を海・森・お茶の京都DMOとも連携して進めます。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 農観ブランディング作成農山漁村：新規3地区（新規） <p>【移住を促進し地域の担い手確保を図ります】</p> <p>年々増加する移住希望者に対し、ニーズに合った地域の紹介やプラットフォームの構築による住居の確保、なりわいづくりを総合的に支援し、移住を促進し、人口減少・高齢化の進む地域の担い手を確保します。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 都市住民の農山漁村等への移住の促進： 1,080人（^{③〇} 630人）■ 市町村や関係機関等と連携して確保した空き家バンク等の新規登録数： 240戸（^{③〇} 145戸）
---	--	--